

郷土芸能祭出演リスト

第2回（さつまフェスタでの開催 於：薩摩総合運動公園グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	秋津舞	永野区 永野区内の小学校 5・6年生と中学校 1・2年生	島津義弘公の朝鮮への出陣または凱旋を祝って踊ったことが始まりといわれています。 踊りは、いでこ（入鼓）・鉦・太鼓で編成され、勢揃い、出陣、攻撃、凱旋とそれぞれに隊形を変えながら勇ましく踊る太鼓踊りです。 昭和49年4月に町の無形民俗文化財に指定され、永野地区の小学校5・6年生と中学校1・2年生を中心に継承してきましたが、小学校、中学校の再編により、現在活動は休止しています。
2	地割り舞	中津川区 地割り舞保存会	中津川に約400年前から伝わる大念仏踊りの一つで、平成21年に55年ぶりに復活して以降、毎年「金吾様踊り」で奉納しています。 地割り舞の由来は、領地を決めるため、地を清めるためなど諸説があります。
3	俵踊り	柏原区 小路下手俵踊り保存会	昔、庄屋どんが小作人に米を作らせ、上納させる様をユーモラスに表現したもの。たまに俵の数が合わず庄屋どんがあわてるところや、小作人がよろけたり俵を落としそうな場面がありますが、踊りの失敗ではなく、米が出来すぎて、俵が重く持ちきれない様子を表現したものです。
4	髷踊り	船木区 船木西壮年団	慶長年間の頃、島津義弘公の朝鮮での戦勝祈願・凱旋祝いとして踊り始められたと伝えられています。踊りには「静」と「動」があり、特に「動」の時は、大きな「ばらデコ」の踊り手が背負っている彼岸花のように削り上げた矢旗の揺れ動く姿は美しく、また士族踊りともいわれる勇壮果敢な踊りで、3年に1度の船木豊年祭で踊られてきました。